

平成19年6月19日

福島県生活環境部
総務企画グループ
電話(直通) 024-521-7180

石油製品の価格動向について

県内の石油製品4品目について、6月11日～15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです。

1 石油製品の価格動向調査の結果（非定店調査）

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	6月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	137	138	0.7
		セルフ	133	136	2.3
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	116	117	0.9
		セルフ	112	116	3.6
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,331	1,352	1.6
		セルフ	1,274	1,305	2.4
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,449	1,468	1.3
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,518	6,619	1.5

ガソリン、灯油は3か月連続、軽油は4か月連続の値上がりとなった。これは、原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

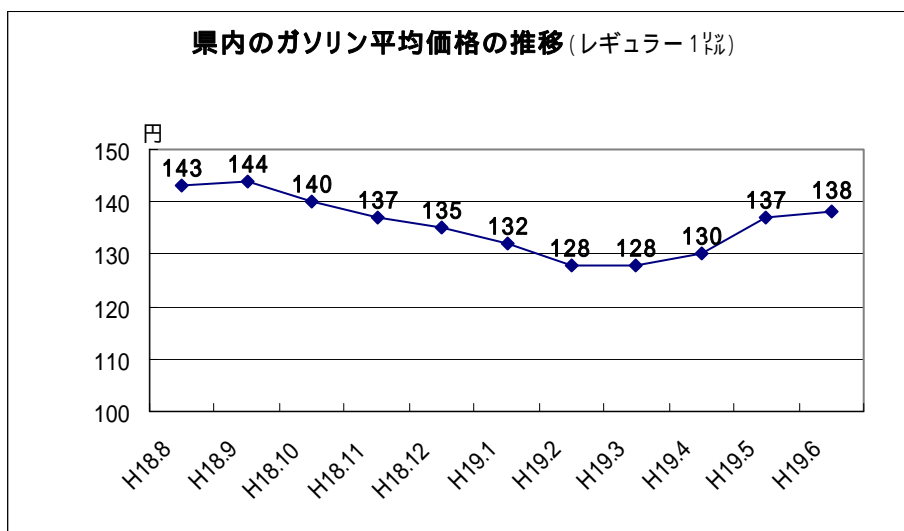
中東情勢の悪化等により原油価格は上昇基調を維持しており、これら品目は今後も穏やかな値上がりが続くものと予測され、引き続き動向を注視していく必要がある。

また、LPガスは、2か月ぶりの値上がりとなった。LPガスの小売価格は一般に他品目ほど敏感に国際市場等に反応しないが、他品目に遅れて値上がり基調に転じたものと見られることから引き続き動向を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

一般店舗価格

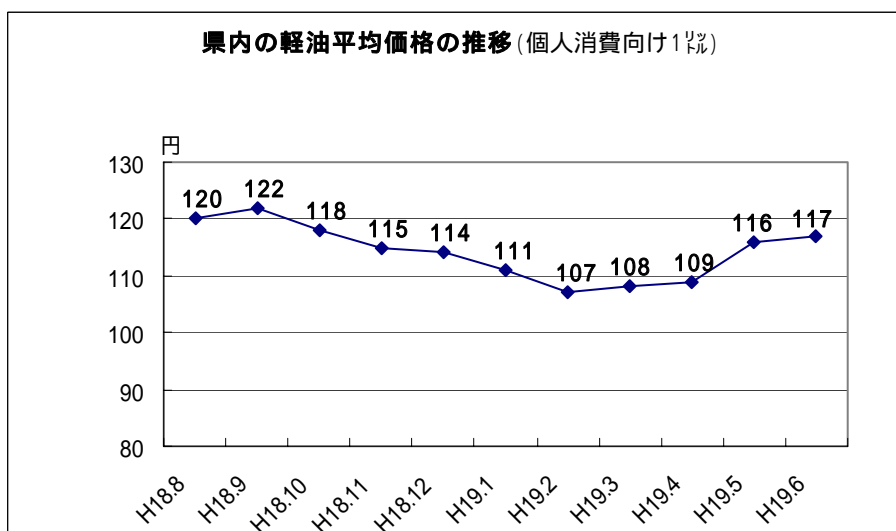


ガソリンは、3か月連続で値上がりし、138円となった。

原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。中東情勢の悪化等により原油価格は上昇基調を維持しており、今後も穏やかな値上がりが続くものと予測され、引き続き動向を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

一般店舗価格

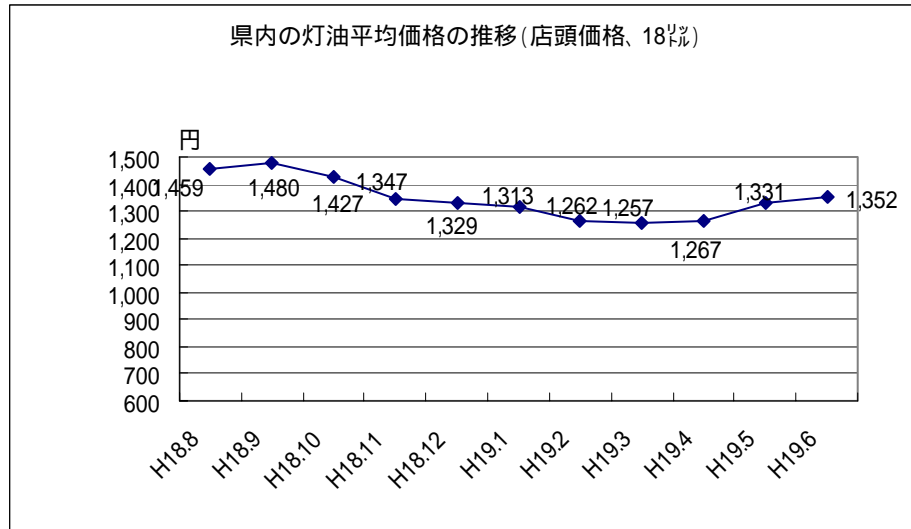


軽油は、4か月連続で値上がりし、117円となった。

原油価格の上昇と円安を受けた元売各社の卸売価格の引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。中東情勢の悪化等により原油価格は上昇基調を維持しており、今後も穏やかな値上がりが続くものと予測され、引き続き動向を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

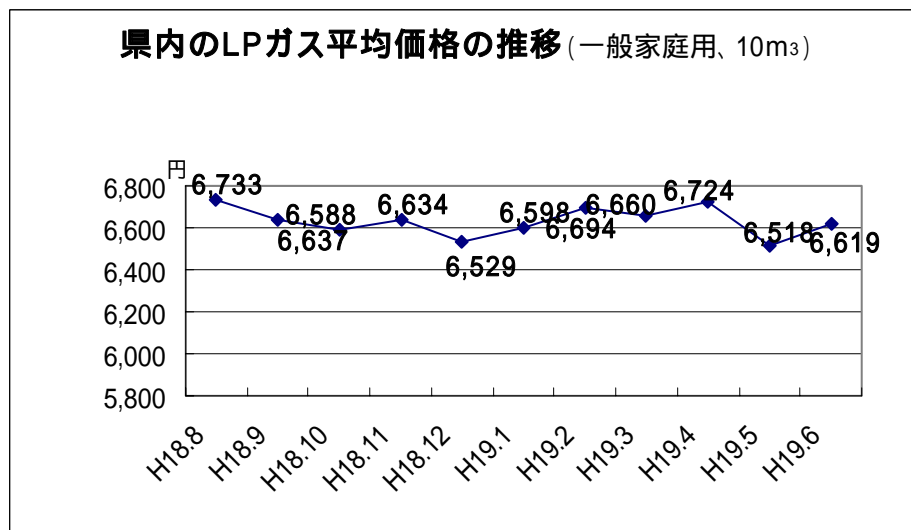
一般店舗価格



5月調査と比較すると、6月は21円(1ℓ当たり1.2円)値上がりし、1,352円となった。中東情勢の悪化等により原油価格は上昇基調を維持しており、今後も穏やかな値上がりが続くものと予測され、引き続き動向を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



LPガスは、2か月ぶりに値上がりし、6,619円となり、5月調査と比較すると101円値上がりした。

LPガスの小売価格は一般に他品目ほど敏感に国際市場等に反応しないが、他品目に遅れて値上がり基調に転じたものと見られることから引き続き動向を注視していく必要がある。